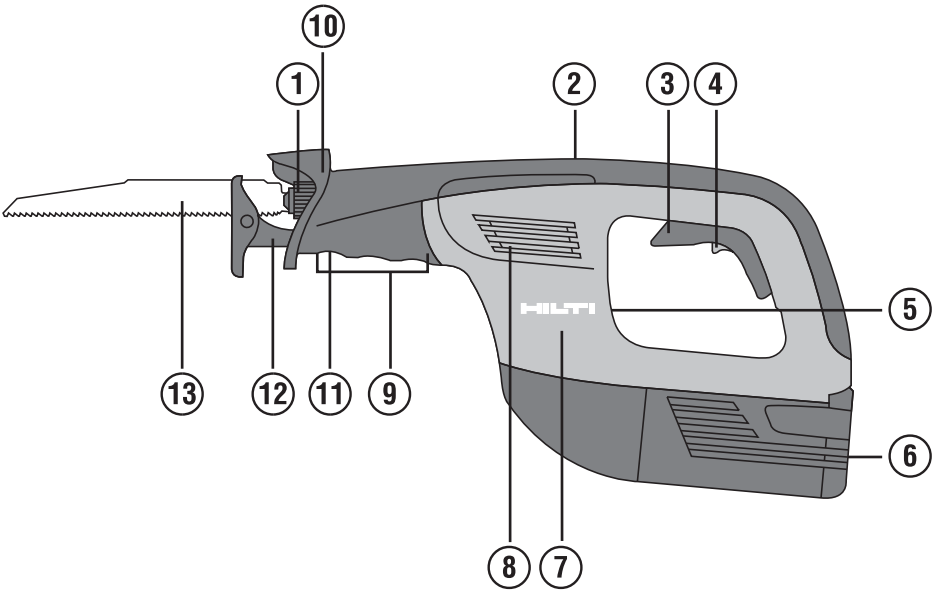
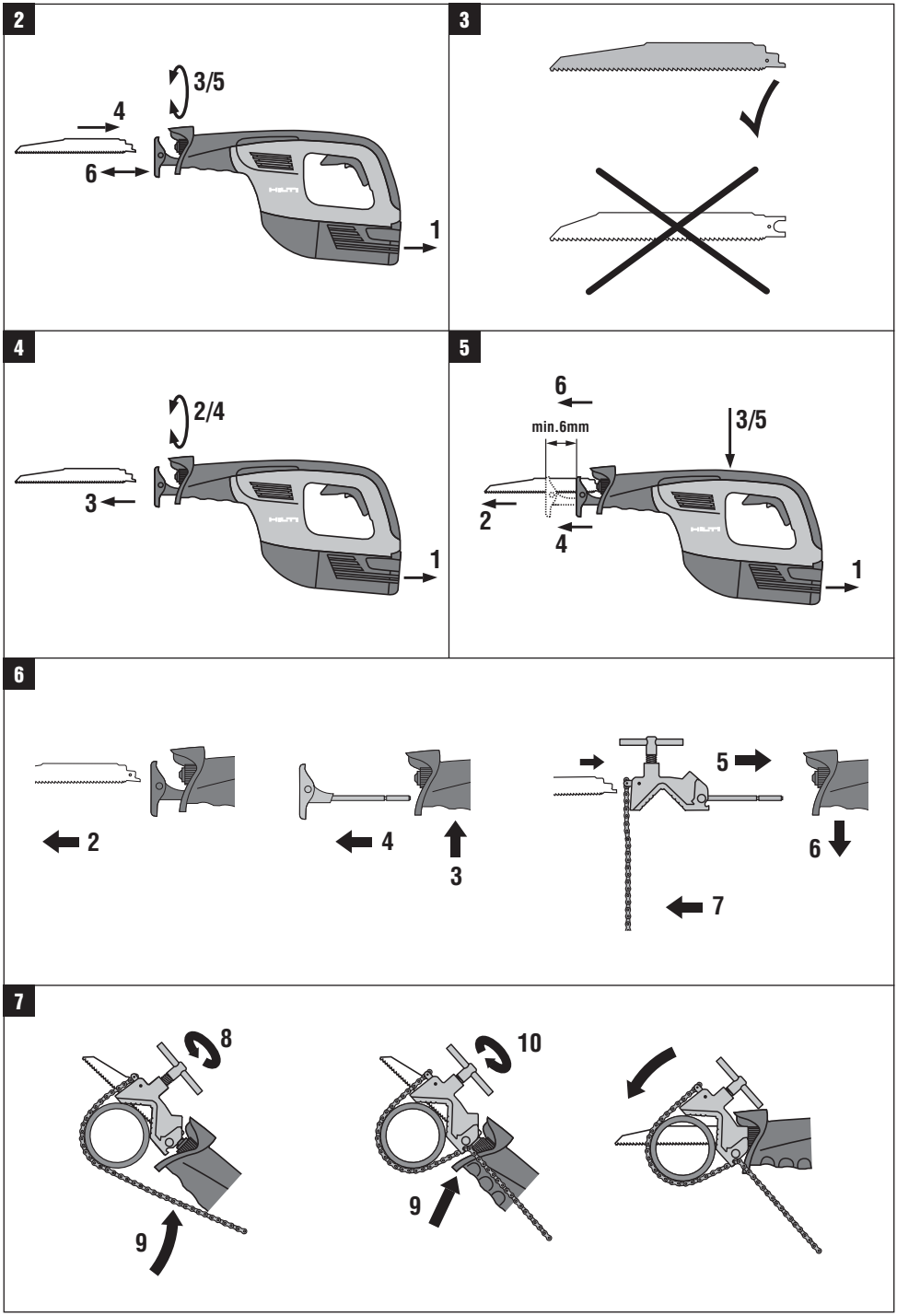
WSR 36-A

Bedienungsanleitung	de
Operating instructions	en
Mode d'emploi	fr
Használati utasítás	hu
Instrukcja obsługi	pl
Инструкция по эксплуатации	ru
Návod k obsluze	cs
Návod na obsluhu	sk
Upute za uporabu	hr
Navodila za uporabo	sl
Ръководство за обслужване	bg
دليل الاستعمال	ar
取扱説明書	ja
사용설명서	ko
Instrucțiuni de utilizare	ro
Kulllanma Talimatı	tr
Lietošanas pamācība	lv
Instrukcija	lt
Kasutusjuhend	et
Пайдалану бойынша басшылық	kk
操 作 說 明 書	zh
操作说明书	cn

Printed: 08.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5071390 / 000 / 02

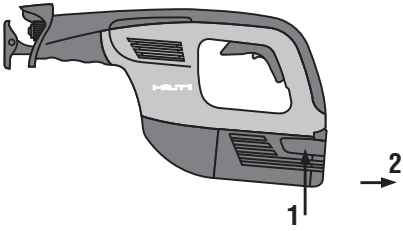
1




2
3/5
4
6
1
3
4
2/4
3
1
5
6
min.6mm
3/5
2
4
1
6
2
4
3
5
6
7
7
8
9
10
9

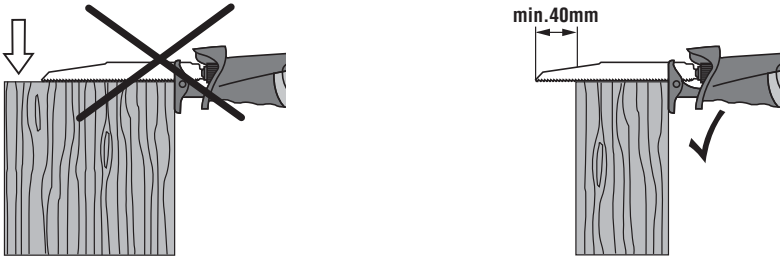
8

9

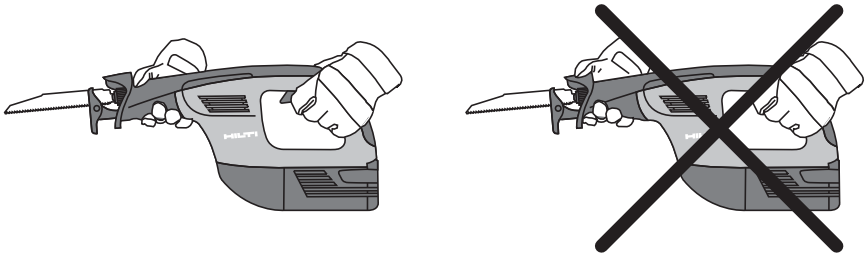


10

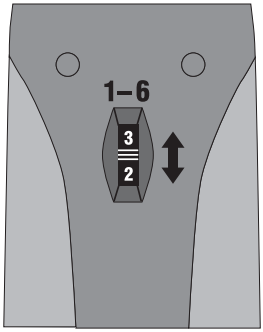
11



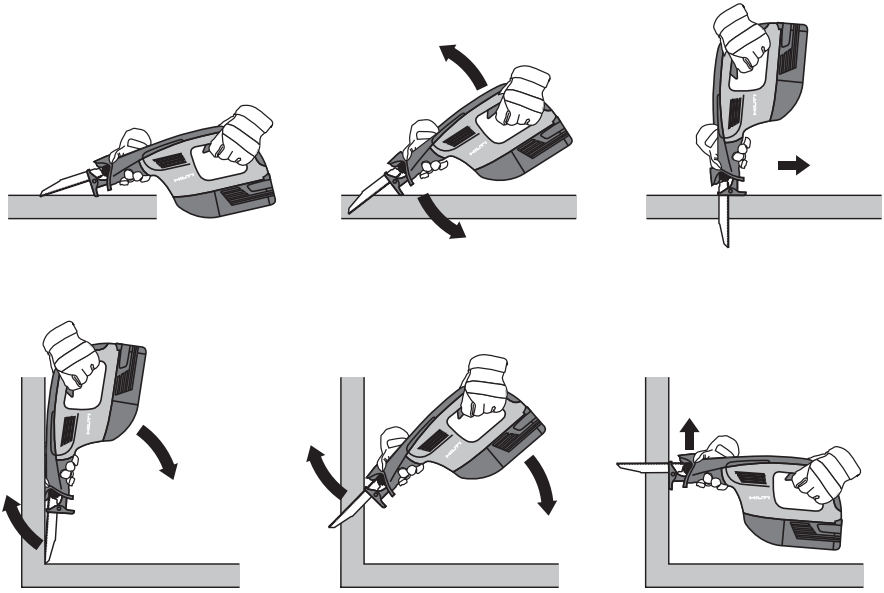
12



13



14



安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ここに示した注意事項は、「⚠ 警　告」、「⚠ 注　意」に区分していますが、誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を「⚠ 警　告」、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を「⚠ 注　意」、として記載しています。なお、「⚠ 注　意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

1. 専用の充電器や電池パックを使用してください。
   - 他の充電器で電池パックを充電しないでください。
   - 電池パックB36/2.4 Li-Ion、B36/3.3 Li-Ion、B36/2.4 NiCd以外は充電しないでください。破裂して障害や損傷を及ぼす恐れがあります。
2. 正しく充電してください。
   - この充電器は定格表示してある電源でご使用ください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
   - 温度が 0 °C 未満、あるいは温度が 45 °C 以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
   - 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
   - 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災の恐れがあります。
3. 電池パックの端子間を短絡させないでください。釘袋等に入れると、短絡して発煙、発火、破裂等の恐れがあります。
4. 感電に注意してください。
   - ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
5. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
   - 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。
6. 保護メガネを使用してください。
   - 作業時は、保護メガネを使用してください。
     また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。
7. 加工するものをしっかりと固定してください。
   - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
     固定が不十分な場合は加工するものが飛んで、けがの恐れがあります。
8. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
   - 使用しない、または、修理する場合。
   - 刃物、ビット等の付属品を交換する場合。
   - その他危険が予想される場合。

   本体が作動して、けがの恐れがあります。
9. 不意な始動は避けてください。
   - スイッチに指を掛けて運ばないでください。本体が作動して、けがの恐れがあります。
10. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
    - 本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因となる恐れがあります。
11. 電池パックを火中に投入しないでください。破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注　意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。
2. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの恐れがあります。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
   - 充電工具や電池パックを、温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。電池パック劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

4. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上でのご使用は事故の恐れがあります。
   - モータがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
5. 作業に合った充電工具を使用してください。
   - 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの恐れがあります。
6. きちんとした服装で作業してください。
   - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
   - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物はけがの恐れがあります。
   - 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってくたさい。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
7. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
   - コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
   - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
   - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
8. 無理な姿勢で作業をしないでください。
   - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけがの恐れがあります。
9. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
   - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの恐れがあります。
   - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの恐れがあります。
   - 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めのお店に修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
   - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
   - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの恐れがあります。

10. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
    - スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの恐れがあります。
11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
    - 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
    - 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
    - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
    - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。
13. 損傷した部品がないか点検してください。
    - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
    - 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
    - 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。
    - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めのお店に修理を依頼してください。
    - スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。異常動作して、けがをする恐れがあります。
14. 充電工具の修理は、専門店に依頼してください。
    - サービスマン以外の人は本体、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
    - 本体が熱くなったり、異常に気付いた時は点検修理に出してください。
    - 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
    - 修理は、必ずお買い求めのお店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

充電式レシプロソー使用上のご注意

⚠ 警 告

1. **壁や床に穴をあける際には、内部の電気配線や配管に注意してください。**感電や水漏れ、ガス漏れなどの事故を引き起こさないように十分調査してから作業を行ってください。壁裏などの通電中の配線を誤って切断した場合などに備え、二重絶縁されている本体のハンドル部分をつかんで作業を行ってください。通電中の配線に触れると、作業者が感電する危険性があります。
2. **壁や床面を切断の際、もしくは電流の流れたワイヤーのあるところで、工具の金属部分には絶対にさわらないでください。**通電中のワイヤーを誤って切った場合、感電するのを防ぐために、二重絶縁されたハンドル部分でのみ工具をつかんでください。
3. **手を運転中のソーブレードに近づけないでください。**運転中は絶対にソーブレードに触れたり、床などの上に置かないでください。作業は工具前部分のハンドグリップをしっかりとつかんで行ってください。手の指をソーブレードに近づけないように注意してください。
4. **ソーブレード類はよく切れる状態を保ってください。**切れないソーブレードの使用は、ソーブレードが使用中にはずれたり、切断作業中に失速したりする原因となります。
5. **木材の中には毒性の銅クロムヒ酸塩（CCA）が含まれるものがあります。**木材の切断作業時、銅クロムヒ酸塩を誤って吸い込んだり、肌に触れたりしないよう、細心の注意をはらってください。

電動工具のラベルには、下記のマークが含まれることがあります。

V	・・・・・・・・	電圧
⎓	・・・・・・・・	直流
回	・・・・・・・・	二重絶縁
⚠	・・・・・・・・	注意
n_0	・・・・・・・・	無負荷状態でのスピード
○○○○ / min	・・	1 分毎の回転数

⚠ 注 意

1. ソーブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
   - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
   - 動作部に巻き込まれ、けがの原因になります。
3. 騒音からの保護のため、耳栓を着用してください。
4. 作業中は、ヘルメット、安全靴を着用してください。
5. 作業直後のソーブレード類は高温となっているので、触れないでください。
   - やけどの原因になります。
6. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
   - 材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
7. 動作させたまま、台や床などに放置しないでください。
   - けがの原因になります。

オリジナル取扱説明書

WSR 36-A 充電式レシプロソー

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は必ず工具と一緒に保管してください。

他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。

目次	頁
1 一般的な注意	155
2 製品の説明	156
3 アクセサリー	157
4 製品仕様	157
5 安全上の注意	158
6 ご使用前に	161
7 ご使用方法	162
8 手入れと保守	164
9 故障かな？ と思った時	164
10 廃棄	165
11 本体に関するメーカー保証	165
12 EU 規格の準拠証明 （原本）	166

1 この数字は該当図を示しています。 図は二つ折りの表紙の中にあります。 取扱説明書をお読みの際は、これらのページを開いてください。
この取扱説明書で「本体」と呼ばれる工具は、常に WSR 36-A 充電式レシプロソーを指しています。

各部名称 1

① ブレードクランプ / ブレードホルダー
② ストローク速度選択スイッチ
③ 無段変速スイッチ
④ スイッチインターロック
⑤ 銘板
⑥ バッテリーパック
⑦ モーター
⑧ ギア部
⑨ フロントエンドグリップ （ハンドガード）
⑩ ブレードクランプ / ブレードホルダーカバー付きハンドガード
⑪ プロテクトシュー調整用ロックボタン
⑫ プロテクトシュー
⑬ ソーブレード

ja

1 一般的な注意

1.1 安全に関する表示とその意味

危険
この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。

警告事項
この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。

注意
この表記は、軽傷あるいは所持物の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

注意事項
この表記は、本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

1.2 記号の説明と注意事項

警告表示

一般警告事項

電気に関する警告事項

高温に関する警告事項

腐食に関する警告事項

義務表示

保護メガネを着用してください

保護ヘルメットを着用してください

耳栓を着用してください

保護手袋を着用してください

粉じんの多い作業においては、防じんマスクを着用してください

略号

電圧

直流

ストローク数 / 分

ご使用前に取扱説明書をお読みください

リサイクル規制部品です

ストローク速度

機種名 ・ 製造番号の表示箇所
機種名および製造番号は本体の銘板に表示されています。 当データを御自身の取扱説明書にメモ書きしておき、 お問い合わせなどの必要な場合に引用してください。

機種名 :

製品世代 : 01

製造番号 :

2 製品の説明

2.1 正しい使用

WSR 36-A はプロ仕様の充電式レシプロソーです。 本体は、 木材、 木製および金属製母材、 プラスチックの切断に使用されます。 本体は右利きの方だけでなく左利きの方にもご使用になれます。 人間工学に基づき設計された合成ゴムグリップを使用しており、 作業者の疲労を軽減するだけでなく、 手からの滑り落ちも防止できます。
本体は両手操作用として設計されています。
上記の作業を行う作業区域としては、 レスキューサービス、 公共工事、 農業、 林業、 建設現場、 工場、 改修、 改築、 新築工事、 金属構造物、 配管工事、 冷暖房 ・ 空調工事などが適しています。
レンガ、 コンクリート、 気泡コンクリート、 天然石、 タイルを切断しないでください。
本体を、 水滴が残っているパイプの切断に使用しないでください。
未知の母材には切断を行わないでください。
本体はプロ仕様で製作されており、 本体の使用、 保守、 修理を行うのは、 認定、 訓練された人のみに限ります。 これらの人は、 遭遇し得る危険に関する情報を入手していなければなりません。 本体および付属品の、 使用法を知らない者による誤使用、 あるいは規定外使用は危険です。
けがの可能性を防ぐため、 必ずヒルティ純正の、 アクセサリーや先端工具のみを使用してください。
健康を損なう恐れのある母材 (アスベストなど) への加工は許されません。
本体は乾燥環境でのみ使用してください。
火災や爆発の恐れがあるような状況では、 本体を使用しないでください。
本バッテリーパックを他の電気器具の電源用に使用しないでください。
取扱説明書に記述されている使用、 手入れ、 保守に関する事項に留意してご使用ください。
本体の加工や改造は許されません。

2.2 スイッチ

スイッチインターロック付き無段変速スイッチ

2.3 グリップ

振動吸収グリップ

2.4 ストローク速度調整

切断母材	推奨ストローク速度
木材	5... 6
釘の入った木材	5... 6
内装、 間仕切壁	3... 4
プラスチック	3... 4
鉄	2... 3
非鉄金属	2... 3

切断母材	推奨ストローク速度
アルミニウム	2... 3
ステンレス	1

2.5 本体標準セット構成品

1 本体
1 ソーブレード
1 取扱説明書
1 本体ケース

2.6 Li-Ion バッテリーパックの充電状態

LED 点灯	LED 点滅	充電状態 C
LED 1、 2、 3、 4	-	C ≧ 75 %
LED 1、 2、 3	-	50 % ≦ C < 75 %
LED 1、 2	-	25 % ≦ C < 50 %
LED 1	-	10 % ≦ C < 25 %
-	LED 1	C < 10 %

3 アクセサリー

名称	略号	製品の説明
ソーブレード		½" コネクションエンド付き
Li-Ion バッテリーパック用充電器	C 4/36-ACS	
Li-Ion バッテリーパック用充電器	C 4/36-90	
Li-Ion バッテリーパック用充電器	C 4/36-350	
バッテリーパック		B36/2.4 Li-Ion
バッテリーパック		B36/2.6 Li-Ion
バッテリーパック		B36/3.0 Li-Ion
バッテリーパック		B 36/3.3 Li-Ion
バッテリーパック		B 36/3.9 Li-Ion
パイプカットアダプター		

4 製品仕様

技術データは予告なく変更されることがあります。

本体	WSR 36-A
電圧 （直流電圧）	36 V
重量 （EPTA プロシージャ 01/2003 に準拠）	4.37 kg
本体寸法 （長 x 幅 x 高）	455 mm x 92 mm x 228 mm
ストローク数	0... 2,850/min
ストローク長	32 mm

本体	WSR 36-A
ストローク速度調整	可変ストローク電子回路、 6 ポジションストローク速度選択スイッチ
チャック	キーレス、 ½" 標準ブレード用

バッテリーパック	B 36/2.4 Li-Ion	B 36/2.6 Li-Ion	B 36/3.0 Li-Ion	B 36/3.3 Li-Ion	B 36/3.9 Li-Ion
電圧	36 V	36 V	36 V	36 V	36 V
容量	2.4 Ah	2.6 Ah	3.0 Ah	3.3 Ah	3.9 Ah
エネルギー含量	86.4 Wh	93.6 Wh	108.0 Wh	118.8 Wh	140.4 Wh
重量	1.17 kg	1.17 kg	1.17 kg	1.65 kg	1.65 kg
セルの種類	Li-Ion	Li-Ion	Li-Ion	Li-Ion	Li-Ion
充電温度モニター	あり	あり	あり	あり	あり
放電温度モニター	あり	あり	あり	あり	あり

注意事項
本説明書に記載されている振動レベルは、 EN 60745 に準拠した測定方法に基づいて測定したものです。 電動工具を比較するのにご使用いただけます。 振動負荷の暫定的な予測にも適しています。 記載されている振動レベルは、 電動工具の主要な使用方法に対する値です。 電動工具を他の用途で使用したり、 異なる先端工具を取り付けて使用したり、 手入れや保守が十分でないまま使用した場合には、 振動レベルが異なることがあります。 このような相違により、 作業時間全体で振動負荷が著しく高くなる可能性があります。 振動負荷を正確に予測するためには、 本体のスイッチをオフにしている時間や、 本体が作動していても実際には使用していない時間も考慮しなければなりません。 このような相違により、 作業時間全体で振動負荷が著しく低くなる可能性があります。 作業者を振動による作用から保護するために、 他にも安全対策を立ててください （例 : 電動工具や先端工具の手入れや保守を行う、 手を冷やさないようにする、 作業手順の計画を立てるなど）。

ja

騒音 / 振動について (EN 60745-1 に準拠) :

サウンドパワーレベル	101 dB (A)
サウンドプレッシャーレベル。	90 dB (A)
定格騒音レベルに対する不確実性	3 dB (A)
3 軸の振動値 （振動ベクトル合計）	EN 60745-2-11 に準拠
板材切断、 $a_{h, B}$	13 m/s²
板材切断に対する不確実性 (K)	3 m/s²
角材切断、 $a_{h, WB}$	16 m/s²
角材切断に対する不確実性 (K)	5 m/s²

5 安全上の注意

注意事項
5.1 に記載された安全上の注意事項は、 電動工具に関する全ての基本的な安全情報を含んでおり、 準拠する規格に応じた注意事項がこの取扱説明書に記載されています。 したがって、 この取扱説明書で説明する機器には関係のない注意事項が含まれていることもあります。

5.1 電動工具の一般安全注意事項

a) ⚠ **警告事項**
安全上の注意および指示事項をすべてお読みください。 安全上の注意および指示事項に従わない場合、 感電、 火災、 重度のけがをまねく恐れがあります。 **安全上の注意および指示事項が書かれた説明書はすべて大切に保管してください。** 安全上の注意で使用する用語 「電動工具」 とは、 お手持ちの電動ツール （電源コード使用） およびバッテリーツール （コードレス） を指します。

5.1.1 作業環境に関する安全

a) **作業場はきれいに保ち、 十分に明るくしてください。** ちらかった暗い場所での作業は事故を起こす恐れがあります。
b) **爆発の危険性のある環境 (可燃性液体、 ガスおよび粉じんのある場所) では電動工具を使用しないでく**

ださい。 電動工具から火花が飛散し、 粉じんや揮発性ガスに引火する恐れがあります。

c) **電動工具の使用中、 子供や無関係者を作業場へ近づけないでください。** 作業中に気がそらされると、 本体のコントロールを失ってしまう恐れがあります。

5.1.2 電気に関する安全注意事項

a) **電動工具の接続プラグは電源コンセントにきちんと適合しなければなりません。 プラグは絶対に変更しないでください。 アースした電動工具と一緒にアダプタープラグを使用しないでください。** オリジナルのプラグと適切なコンセントを使用することにより、 感電の危険を小さくすることができます。

b) **パイプ、 ラジエーター、 電子レンジ、 冷蔵庫などのアースされた面に体の一部が触れないようにしてください。** 体が触れると感電の危険が大きくなります。

c) **電動工具を雨や湿気から保護してください。** 電動工具に水が浸入すると、 感電の危険が大きくなります。

d) **電動工具を持ち運んだり、 吊り下げたり、 コンセントからプラグを抜いたりするときは、 必ず本体を持ち、 電源コードを持ったり引っ張ったりしないでください。 電源コードを火気、 オイル、 鋭利な刃物、 本体の可動部等に触れる場所に置かないでください。** コードが損傷したり絡まったりしていると、 感電の危険が大きくなります。

e) **屋外工事の場合には、 屋外専用の延長コードのみを使用してください。** 屋外専用の延長コードを使用すると、 感電の危険が小さくなります。

f) **湿った場所で電動工具を作動させる必要がある場合は、 漏電遮断機を使用してください。** 漏電遮断機を使用すると、 感電の危険が小さくなります。

5.1.3 作業者に関する安全

a) **電動工具を使用の際には、 油断せずに十分注意し、 常識をもった作業をおこなってください。 疲れている場合、 薬物、 医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。** 電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。

b) **作業保護具および保護メガネを常に着用してください。** けがに備え、 電動工具使用状況に応じた粉じんマスク、 耐滑性の安全靴、 ヘルメット、 耳栓などの作業保護具を使用してください。

c) **電動工具の不意な始動は避けてください。 電動工具を電源および / またはバッテリーに接続する前や本体を持ち上げたり運んだりする前に、 本体がオフになっていることを必ず確認してください。** オン / オフスイッチが入っている状態で電動工具のスイッチに指を掛けたまま運んだり、 電源に接続したりすると、 事故の原因となる恐れがあります。

d) **電動工具のスイッチを入れる前に、 必ず調節キーやレンチを取り外してください。** 調節キーやレンチが本体の回転部に装着されたままでは、 けがの原因となる恐れがあります。

e) **作業中は不安定な姿勢をとらないでください。 足元を安定させ、 常にバランスを保つようにしてください。** これにより、 万一電動工具が異常状況に陥った場合にも、 適切な対応が可能となります。

f) **作業に適した作業着を着用してください。 だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。 髪、 衣服、 手袋を本体の可動部に近づけないでください。** だぶだぶの衣服、 装身具、 長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。

g) **吸じんシステムの接続が可能な場合には、 これらのシステムが適切に接続、 使用されていることを確認してください。** 吸じんシステムを利用することにより、 粉じん公害を防げます。

5.1.4 電動工具の使用および取扱い

a) **無理のある使用を避けてください。 作業用途に適した電動工具を使用してください。** 適切な電動工具の使用により、 能率よく、 スムーズかつ安全な作業が行えます。

b) **スイッチに支障がある場合には、 電動工具を使用しないでください。** スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険ですので、 修理が必要です。

c) **本体の設定やアクセサリーの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、 バッテリーを取り外してください。** この安全処置により、 電動工具の不意の始動を防止することができます。

d) **電動工具をご使用にならない場合には、 子供の手の届かない場所に保管してください。 電動工具に関する知識のない方、 本説明書をお読みでない方による本体のご使用はお避けください。** 未経験者による電動工具の使用は危険です。

e) **電動工具は慎重に手入れしてください。 可動部分が引っ掛かりなく正常に作動しているか、 電動工具の運転に影響を及ぼす各部分が破損・損傷していないかを確認してください。 電動工具を再度ご使用になる前に、 損傷部分の修理を依頼してください。** 発生事故の多くは保守管理の不十分な電動工具の使用が原因となっています。

f) **先端工具をきれいに保ってください。** お手入れのゆきとどいた先端工具を使用すると、 作業が簡単かつ、 スムーズになります。

g) **電動工具、 アクセサリー、 先端工具などは本説明書内の指示に従って使用してください。 この際、 作業環境および用途に関してもよくご注意ください。** 指定された用途以外に電動工具を使用すると危険な状況をまねく恐れがあります。

5.1.5 バッテリーの使用および取扱い

a) **バッテリーを充電する場合は、 必ずメーカー推奨の充電器を使用してください。** 特定タイプのバッテリー専用の充電器を他のバッテリーに使用すると、 火災の恐れがあります。

b) **指定されたバッテリーのみを電動工具に使用してください。** 指定以外のバッテリーを使用すると、 負傷や火災の恐れがあります。

c) **使用しないバッテリーの近くに、 事務用クリップ、 硬貨、 キー、 釘、 ネジ、 その他の小さな金属片を置かないでください。 電気接点の短絡が起こることがあります。** バッテリーの電気接点間が短絡すると、 火傷や火災が発生する危険があります。

d) **バッテリーが正常でないと、 液漏れが発生することがあります。 その場合、 漏れた液には触れないでください。 もしも触れてしまった場合は、 水で洗い流してください。 液体が眼に入った場合は、 水で洗い流してから医師の診察を受けてください。** 流

ja

出したバッテリー液により、 皮膚が刺激を受けたり火傷を負う恐れがあります。

5.1.6 サービス

a) **電動工具の修理は必ず認定サービスセンターにお申し付けください。 また、 必ず純正部品を使用してください。** これにより電動工具の安全性が確実に維持されます。

5.2 その他の安全上の注意

5.2.1 作業者に関する安全

a) **作業の実施に伴い先端工具が隠れている電線に接触する可能性がある場合は、 電動工具を絶縁されたグリップ面で保持するようにしてください。** 通電しているケーブルと接触すると、 本体の金属部分にも電圧がかかり、 感電の危険があります。
b) **耳栓を着用してください。** 騒音により、 聴覚に悪影響が出る恐れがあります。
c) **本体に付属の補助ハンドルを使用してください。** これ以外のハンドルを使用すると、 コントロールを失ってけがをする恐れがあります。
d) **本体は必ず両手でグリップを掴んで確実に保持してください。 グリップ表面は乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスで汚さないようにしてください。**
e) **本体に集じん装置を取り付けないで作業をする場合、 作業される方は防じんマスクを着用しなければなりません。**
f) **休憩を取って緊張をほぐし、 指を動かして血の巡りを良くするように心がけてください。**
g) **本体は指示にしたがい、 必ず異常がない状態で使用してください。**
h) **先端工具は使用することで熱くなるので、 先端工具の交換時には保護手袋を着用してください。**
i) **本体の電源は必ず作業場で入れてください。**
j) **不意に始動しないようにしてください。 スイッチに指を掛けた状態で本体を持ち運ばないでください。 工具を使用しない時 (仕事の休憩中、 手入れや保守を行う時、 先端工具の交換時、 運搬中) は、 バッテリーパックを本体から取り外してください。**
k) **本体で遊んではいけないことを子供に伝えてください。**
l) **本体は、 子供や体の弱い人が指示を受けずに使用するには向いていません。**
m) 含鉛塗料、 特定の種類の木材、 鉱物、 金属などの母材から生じた粉じんは、 健康を害する恐れがあります。 作業者や近くにいる人々が粉じんに触れたり吸い込んだりすると、 アレルギー反応や呼吸器疾患を起こす可能性があります。 カシやブナ材などの特定の粉じんは、 特に木材処理用の添加剤 (クロム塩酸、 木材保護剤) が使用されている場合、 発ガン性があるとされています。 アスベストが含まれる母材は、 必ず専門家が処理を行うようにしてください。 **できるだけ集じん装置を使用してください。 集じん効果を高めるには、 当電動工具に適したヒルティ推奨の木材 / 鉱物粉じん用移動式集じん機を使用してください。 作業場の換気に十分配慮してください。 フィルタークラス P2 の防じんマスクの着用をお勧めします。 処理する母材について、 各国で効力を持つ規定を遵守してください。**

5.2.2 電動工具の慎重な取扱いおよび使用

a) **作業材料を固定します。 作業材料を締め付ける時は、 クランプあるいは万力を使用してください。** この方が手で押さえるよりも確実であり、 本体を両手で自由に操作することができます。
b) **使用する先端工具がチャック機構に適合し、 チャック内にしっかりと固定されていることを確認してください。**

5.2.3 レシプロソー特有の安全上の注意

a) **作業時には必ず本体を身体から離すようにしてください。**
b) **決してソーブレードの前に手を差し出したり、 触れたりしないでください。**
c) **未知の母材には決して切断を行わないでください。 切断ラインの上面と下面から障害物を取り除いてください。** ソーブレードが切断面に当たった時に、本体に対して反力が作用することがあります。
d) **特にパイプ直径が大きい場合にパイプカットアダプター (アクセサリー) を使用するときは、 適切な押し付け力と適度なカッティングスピードで作業してください。** これにより、 本体の過熱を防止することができます。
e) **本体のプロテクトシューを作業材料に押し当ててください。** これにより、 最適で安全な作業を保証することができます。
f) **切屑が熱くなっていることがあるため、 適切な保護服を着用してください。**
g) **本体は必ずハンドガードを取り付けて使用してください。**
h) **作業開始前に、 作業場で発生する粉じんの危険有害度を調査してください。 公的に承認された保護等級および地域の粉じんに関する規定を満たした工業用集じん機を使用してください。**
i) **警告事項！ パイプ類を切断する場合は (解体および据付け工事など)、 パイプ内に水滴が残っていないことを前もって確認してください。 必要に応じてパイプを空にしてください。 パイプを切断する場合には、 本体をパイプより上の位置に保持してください。** 本体は耐水仕様ではありません。 水滴が本体にかかると短絡が発生することがあります。
j) **レンガ、 コンクリート、 気泡コンクリート、 天然石、 タイルを切断しないでください。**
k) **本体は規定の切断能力範囲内で、 適切なブレード (レシプロソーに対応した正しい寸法で ½" コネクションエンドの付いたソーブレード) を取り付けて使用してください。**

5.2.4 バッテリーの慎重な取扱いおよび使用

a) **LI-Ion バッテリーパックの搬送、 保管、 作動には特別規定を守ってください。**
b) **バッテリーパックは高温と火気を避けて保管してください。** 爆発の恐れがあります。
c) **バッテリーパックを分解したり、 挟んだり、 80 °C 以上に加熱したり、 燃やしたりしないでください。** これを守らないと、 火災、 爆発、 腐食の危険があります。
d) **必ず本体用に許可されたバッテリーパックを使用してください。** その他のバッテリーパックを使用し

ja

たり、 他の目的でバッテリーパックを使用すると、 火災や爆発の危険があります。

e) **損傷したバッテリーパック (例えば亀裂や破損箇所があったり、 電気接点が曲がっていたり、 押し戻されていたり、 引き抜かれているバッテリーパック) の充電や使用はしないでください。**

f) **必ず 「アクセサリー」 の項に記載のヒルティ充電器を使用してください。**

g) **バッテリーパックを充電器にセットする前に、 バッテリーパックの表面の汚れを落とし、 乾かしてください。 充電方法については、 充電器の取扱説明書を参照してください。**

h) バッテリーパックがつかむことのできないほどに熱くなっている場合は、 故障している可能性があります。 **本体を監視可能な火気のない場所に可燃性の資材から十分に距離をとって置き、 冷ましてください。 バッテリーパックを冷ました後、 ヒルティサービスセンターにご連絡ください。**

5.2.5 電気に関する安全注意事項

作業を開始する前に、 作業場に埋設された電線、 ガス管や水道管がないかを金属探知機などで調査してください。 例えば、 作業中に誤って先端工具が電線に触れると、 本体の金属部分とケーブルが通電する可能性があります。 この場合、 感電による重大な事故が発生する危険があります。

5.2.6 作業場の安全確保

作業場の換気に十分配慮してください。 作業場の換気が十分でないと、 粉じんによる汚染で健康が害される恐れがあります。

5.2.7 個人保護用具

本体使用中、 作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護メガネ、 保護ヘルメット、 耳栓、 保護手袋および防じんマスクを着用しなければなりません。

ja

6 ご使用前に

6.1 ソーブレードの交換

注意
保護手袋を着用してください。 ソーブレードのカッティングエッジは鋭くなっています。 カッティングエッジで怪我をする恐れがあります。

6.1.1 ソーブレードのセット 2 3

1. バッテリーパックを本体から引き出します。
2. 先端工具のコネクションエンドが汚れていないか、グリスが塗布されているか確認します。 必要であれば、 コネクションエンドの汚れを取り除き、グリスを薄く塗ってください。
   注意事項必ず ½" コネクションエンド （図 3）付きのソーブレードのみを使用してください。
3. ブレードクランプのロッキングスリーブを反時計方向に回し、 そのまま保持します。
4. ソーブレードを前からブレードクランプに押し込みます。
5. ロッキングスリーブを元に戻してカチッと噛み合わせます。
6. ソーブレードを引っ張り、 きちんと噛み合っていることを確認します。

6.1.2 ソーブレードの取り外し 4

1. バッテリーパックを本体から引き出します。
2. ブレードクランプのロッキングスリーブを反時計方向に回し、 そのまま保持します。
3. ソーブレードをブレードクランプから前方に引き出します。
4. ロッキングスリーブを元に戻します。

6.2 プロテクトシューの調整 5

注意
使用中に、 プロテクトシューを調節しないでください。

プロテクトシューを調整することにより、 ソーブレード長を最適に利用し、 コーナーへのアクセスを楽にすることができます （プロテクトシューは 6 mm 間隔で調整可能）。

1. バッテリーパックを本体から引き出します。
2. ソーブレードを本体から取り外します。
3. プロテクトシュー調整用ロックボタンを押し、 その状態を保ちます。
4. プロテクトシューをご希望の位置まで前後に動かします。
5. プロテクトシュー調整用ロックボタンを放します。
6. プロテクトシューを引っ張り、 きちんと噛み合っていることを確認します。

6.3 パイプカットアダプター (アクセサリー) 6 7

1. バッテリーパックを本体から引き出します。
2. ソーブレードを本体から取り外します。
3. プロテクトシューのロックボタンを押し、 その状態を保ちます。
4. プロテクトシューを本体から前方へ引き抜きます。
5. パイプカットアダプターを本体の前部からご希望の位置まで動かします。
6. ロックボタンを放します。
7. パイプカットアダプターを引っ張り、 きちんと噛み合っていることを確認します。
8. スクリュークランプを最大に開きます。
9. パイプカットアダプターのチェーンをパイプの周りに巻き、 アダプターにしっかり固定します。
   注意事項本体とスクリュークランプの角度は 45° にしてください。
10. スクリュークランプを閉じます。

6.4 バッテリーパックの慎重な取扱い

注意事項
低温ではバッテリーパックの力が低下します。 バッテリーの充電量が少なくなった場合は、 本体が完全に停止するまで作業を続けないでください。 予備のバッテリーと交換してください。 効率が落ちたバッテリーパックは、 交換後速やかに充電してください。

バッテリーパックを使用しない場合は、 できるだけ涼しくて乾燥した場所に保管してください。 バッテリーパックを太陽の直射下、 ラジエーターの上、 窓際等で保管しないでください。 寿命となったバッテリーの廃棄は、 リサイクル規制により定められた方法で確実に行ってください。

6.5 バッテリーパックの充電

危険
必ず指定されたヒルティバッテリーパックと、「アクセサリー」 の項に記載のヒルティ充電器を使用してください。

6.5.1 バッテリーパックの初充電

セルを確実に初充電するため、 新しいバッテリーパックの場合は、 使用前に必ず十分に充電してください。 十分に充電しておかないと、 バッテリー容量に影響を及ぼすことがあります。 初充電に関しては当該充電器の取扱説明書を参照してください。

6.5.2 バッテリーパックの再充電

バッテリーパックを充電器にセットする前に、 バッテリーパックの表面の汚れを落とし、 乾かしてください。 充電方法については、 充電器の取扱説明書を参照してください。
Li-Ion バッテリーパックは、 部分的にしか充電されていない状態であっても常に挿入することができます。 充電の進行状況は LED で表示されます (充電器の取扱説明書を参照)。

6.6 バッテリーパックの装着 8

危険
必ず指定されたヒルティバッテリーパックと、「アクセサリー」 の項に記載のヒルティ充電器を使用してください。

注意
バッテリーパックを本体に挿入する前に、 バッテリーパックの接点と本体の接点に異物が付いていないか確認してください。

1. バッテリーパックを本体の後部にあてがいながら、 カチッカチッと音がするまで挿入します。
2. **注意バッテリーパックが落下して怪我をする恐れがあります。**
   バッテリーパックが本体にしっかりと固定されていることを確認してください。

6.7 バッテリーパックの取外し 9

1. バッテリーの両サイドにあるリリースボタンを押します。
2. バッテリーパックを本体から後ろへ引き抜きます。

7 ご使用方法

注意事項
良好な切断能力を実現し、 本体への負担を軽くするために、 不具合のないソーブレードのみを使用してください。

注意
本体に負荷をかけ過ぎないでください。 規定の出力範囲で十分に効率的で安全な作業が可能です。

注意
簡易防じんマスクおよび保護メガネを常に着用してください。 切断作業により、 粉じんや切屑が空気中に渦巻きます。 粉じんや切屑が気管、 眼などを傷つけることもあります。

注意
粉じんは健康を損なう恐れがあり、 呼吸器疾患、 皮膚病、 アレルギー反応を引き起こすことがあります。

警告事項
特定の粉じんは発がん性物質と見なされています。 これに相当するのは、 鉱物粉じん、 カシやブナ材の木材粉じ

ん （特に木材加工用の添加剤としてクロム酸塩、 木材保護剤が使用されている場合） です。

注意
耳栓を着用してください。 本体および切断作業は騒音を発生させます。 騒音により、 聴覚に悪影響が出る恐れがあります。

注意
保護手袋を着用してください。 ソーブレードのカッティングエッジは鋭くなっています。 カッティングエッジで怪我をする恐れがあります。

注意
作業時には必ず本体を身体から離すようにしてください。

注意
必ずブレードが停止してから、 本体を作業材料から放してください。

注意
必ずブレードが停止してから本体を置いてください。

注意
ソーブレードは連続動作で高温になります。 **保護手袋を着用してください。** 高温になったソーブレードに触れると、 やけどの恐れがあります。

7.1 安全な作業 10 11 12

危険
本体のプロテクトシューを作業材料に押し当ててください。 これにより、 最適で安全な作業を保証することができます。

危険
ソーブレードはストロークサイクル中に作業材料の端から 40 mm 以上突き出る必要があります。 これにより、 切断中の反動を防止することができます。

警告事項
本体とグリップを常に両手でしっかりと保持してください。 本体は必ずハンドガードを取り付けて使用してください。 ブレードクランプ / ブレードホルダーのカバーをグリップエリアとして使用しないでください。 ブレードクランプ / ブレードホルダーによる怪我の恐れがあります。

7.2 スイッチオン

スイッチインターロックを操作して、 コントロールスイッチを押します。

7.3 スイッチオフ

コントロールスイッチから指を放します。

7.4 ストローク速度の調整 13

注意事項
推奨ストローク速度設定とソーブレードの正しい選択に関する情報は、 製品情報と該当するアプリケーション表に記載されています。

ストローク速度選択スイッチを回してストローク速度を選択することができます。
以下の章を参照してください：2.4 ストローク速度調整
コントロールスイッチを押します。
本体が、 選択したストローク速度で作動します。

7.4.1 ストローク速度の選択

1 = 低速、 6 = 高速
注意事項
上記の設定は、 最適な切断能力を保証するための推奨値です。 この設定は、 使用されるソーブレードや本体の使用方法に応じて異なることがあります。 ストローク速度の設定が正しくないと、 ソーブレードの摩耗が早まります。

以下の章を参照してください：2.4 ストローク速度調整

7.5 プランジソーイング 14

警告事項
プランジソーイングの際、 作業場の裏側の安全を確保してください。 必ず適切な、 できるだけ短いソーブレードを使用してください。

プランジソーイングは、 柔らかい母材に対してのみ使用してください。 あらかじめ穴を開けることをしないでブレードを母材に突き刺し、 本体を作動させながら切り抜くやり方には、 若干の訓練が必要です。 プランジソーイングには必ず短いソーブレードを使用してください。 プランジカットを開始する時の本体の位置は、 ノーマル位置とリバース位置の 2 通りがあります。

1. 本体のプロテクトシューのフロントエッジを母材に当てます。
2. スイッチインターロックを操作して、 コントロールスイッチを押します。
3. 本体を母材にしっかりと押し付け、 本体 （プロテクトシュー） を母材の方に傾けながらプランジを開始します。 ソーブレードを母材に接触する前に本体が作動していなければなりません。 この状態でなければ本体が停止することがあります。
4. ソーブレードが母材を突き抜いたら、 本体をノーマル位置に戻し （プロテクトシューの面全体を接触させる）、 ラインに沿って切断を続けます。

8 手入れと保守

注意
本体が不意に始動することがないよう、 清掃作業を始める前にバッテリーパックを取り外してください。

8.1 手入れに関する注意事項

ブレードクランプの正常な作動を保証するために、 ブレード、 特にコネクションエンドはいつもきれいにしておいてください。
ブレードクランプはいつもきれいにしておいてください。
本体には製造時に適切に潤滑油がさされています。 長い期間に渡って使用頻度がかなり高い場合は、 ヒルティに点検を依頼されることをお勧めします。 これにより本体の寿命を延ばし、 不必要な修理費用がかからないようにすることができます。

8.2 本体の手入れ

注意
本体、特にグリップ表面を乾燥させ、清潔に保ち、オイルやグリスが付着していないようにしてください。 洗剤、 磨き粉等のシリコンを含んだ清掃用具は使用しないでください。

本体の外側ボディは、 耐衝撃性プラスチックで作られています。 グリップ部分は合成ゴムを使用しています。
通気溝が覆われた状態で本体を使用しないでください。 通気溝を乾いたブラシを使用して注意深く掃除してください。 本体内部に異物が入らないようにしてください。 定期的に、 少し湿した布で本体表面を拭いてください。 スプレーやスチームあるいは流水などによる清掃は避けてください。 電気上の安全面に悪影響が出る可能性があります。

8.3 Li-Ion バッテリーパックの手入れ

湿気が入らないようにしてください。
はじめてお使いになる前にはバッテリーパックをフル充電してください。
バッテリーパックを最大寿命で使用できるように、 本体のパワーが著しく低下したら直ちに放電を中止してください。

注意事項
本体の作動を続けると、 セルの損傷を防ぐために放電が自動的に終了します。

バッテリーパックは Li-Ion バッテリーパック用に許可されたヒルティ充電器で充電してください。
注意事項
- NiCd または NiMH の場合のようなバッテリーパックのコンディショニングは必要ありません。
- 充電を中断しても、 バッテリーパックの寿命に影響はありません。
- バッテリーの寿命に影響を及ぼすことなく、 いつでも充電を開始することができます。 NiCd または NiMH の場合のようなメモリー効果はありません。
- バッテリーパックはフル充電した状態でできるだけ涼しくて乾燥した場所に保管するのが最適です。 周囲温度が高い場所（窓際） にバッテリーパックを保管すると、 バッテリーパックの寿命に影響が出て、 セルの自己放電率が上昇します。
- バッテリーパックが完全に充電できなくなった場合は、 劣化や過負荷で容量が低下しています。 このバッテリーパックで作業を続けることはまだ可能ですが、 適当な時期にバッテリーパックを新品と交換してください。

8.4 保守

警告事項
本体の電気系統部分の修理は訓練された修理スペシャリストのみができます。

本体の全ての表面パーツに損傷がないか、 また全ての装置が支障なく作動するか確認してください。 パーツが損傷していたり、 装置が正しく作動しない場合は、 本体を使用しないでください。 修理が必要な際は、 弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にご連絡ください。

8.5 手入れと保守を行った後の点検

手入れ、 保守の作業を済ませた後は、 全ての安全機構が装着され、 正常に作動していることを確認しなければなりません。

9 故障かな？ と思った時

症状	考えられる原因	処置
本体が始動しない	コントロールスイッチの故障。	修理スペシャリストに点検を依頼し、 必要な場合には交換する。
	バッテリーパックが正しくロックされていないか、 あるいはバッテリーパックの放電。	バッテリーパックをカチッカチッとロック音がするまで挿入するか、 あるいはバッテリーパックを充電する。
本体機能がフルに発揮されない	ストローク速度が低い値に設定されている。	ストローク速度選択スイッチを、 切断する母材に合った値に設定する。
	コントロールスイッチの握り込みが不十分。	コントロールスイッチを一杯に握り込む。

症状	考えられる原因	処置
本体機能がフルに発揮されない	バッテリーパックの放電。	バッテリーパックを交換し、 空のバッテリーパックを充電する。
ソーブレードをブレードクランプから取り出せない	ロッキングスリーブが一杯まで回されていない。	ロッキングスリーブを一杯まで回し、 ソーブレードを抜く。

10 廃棄

注意
装備を誤った方法で廃棄すると、 次のような危険があります : プラスチック部分の燃焼時には人体に有害な有毒ガスが発生します。 電池は損傷したりあるいは激しく加熱されると爆発し、 毒害、 火傷、 腐食または環境汚染の危険があります。 廃棄について十分な注意を払わないと、 権限のない者が装備を誤った方法で使用する可能性があります。 このような場合、 ご自身または第三者が重傷を負ったり環境を汚染する危険があります。

注意
故障したバッテリーパックはただちに廃棄してください。 バッテリーパックは子供の手の届かない所に置いてください。 バッテリーパックを分解したり、 燃やしたりしないでください。

注意
バッテリーは、 各国の規制に従って廃棄してください。

本体の大部分の部品はリサイクル可能です。 リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。 多くの国でヒルティは、 古い電動工具をリサイクルのために回収しています。 詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。

EU 諸国のみ

本体を一般ゴミとして廃棄してはなりません。

古い電気および電子工具の廃棄に関するヨーロッパ基準と各国の法律に基づき、 使用済みの電気工具は一般ゴミとは別にして、 環境保護のためリサイクル規制部品として廃棄してください。

11 本体に関するメーカー保証

ヒルティは提供した本体に材質的または、 製造上欠陥がないことを保証します。 この保証はヒルティ取扱説明書に従って本体の操作、 取り扱いおよび清掃、 保守が正しく行われていること、 ならびに技術系統が維持されていることを条件とします。 このことは、 ヒルティ純正の、 消耗品、 付属品、 修理部品のみを本体に使用することができることを意味します。

この保証で提供されるのは、 本体のライフタイム期間内における欠陥部品の無償の修理サービスまたは部品交換に限られます。 通常の摩耗の結果として必要となる修理、 部品交換はこの保証の対象となりません。

上記以外の請求は、 拘束力のある国内規則がかかる請求の排除を禁じている場合を除き一切排除されます。 とりわけ、 ヒルティは、 本体の使用目的の如何に関わらず、 使用した若しくは使用できなかったことに関して、 またはそのことを理由として生じた直接的、 間接的、 付随的、 結果的な損害、 損失または費用について責任を負いません。 市場適合性および目的への適合性についての保証は明確に排除されます。

修理または交換の際は、 欠陥が判明した本体または関連部品を直ちに弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店宛てにお送りください。

以上が、 保証に関するヒルティの全責任であり、 保証に関するその他の説明、 または口頭若しくは文書による取り決めは何ら効力を有しません。

12 EU 規格の準拠証明（原本）

名称：	充電式レシプロソー
機種名：	WSR 36-A
製品世代：	01
設計年：	2007

この製品は以下の基準と標準規格に適合していることを保証します：
2006/42/EG、2004/108/EG、2006/66/EG、2011/65/EU、EN 60745-1、 EN 60745-2-11、 EN ISO 12100.

Hilti Corporation 、 Feldkircherstrasse 100 、 FL-9494 Schaan

Paolo Luccini
Head of BA Quality and Process Management
Business Area Electric Tools & Accessories
01/2012

Jan Doongaji
Executive Vice President
Business Unit Power Tools & Accessories
01/2012

技術資料：

Hilti Entwicklungsgesellschaft mbH
Zulassung Elektrowerkzeuge
Hiltistrasse 6
86916 Kaufering
Deutschland

ja

Hilti Corporation
LI-9494 Schaan
Tel.: +423 / 234 21 11
Fax: +423 / 234 29 65
www.hilti.com

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan
W 3476 I 0613 I 00-Pos. 8 I 1
Printed in Germany © 2013
Right of technical and programme changes reserved S. E. & O.

214010 / A4

Printed: 08.07.2013 | Doc-Nr: PUB / 5071390 / 000 / 02